



感じて動く ～ Feel & Move ～

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしいいっぱい たくまさいっぱい

三城小学校 学校だより
R6.4.22 第3号
校長 田中康隆

子供たちの安全を守るために、ご協力をお願いします

私が、朝に交通指導をしている場所は、三城小学校の北側の角です。この場所は、武道館側から来る児童とガソリンスタンド側から来る児童で混雑する場所です。交通量が多く、私一人で2つある横断歩道を安全に渡らせるのは非常に難しさを感じているところです。用務のため、立つことができない日もあります。

この場所は、ボランティアとして交通指導ができるようPTAで黄色の旗が設置してある場所でもあります。しかし、実際のところ機能していないのが現状です。実は、4月16日(火)に開催された学校と地域を結ぶ会議「三城小学校コミュニティスクール運営協議会・地域学校協働本部」でもこの話をしたところ、次の日から5月の連休前まで分担して一緒に立ってくださると連絡が入りました。日頃から様々な面でご支援いただいている方々ですが、動きの速さに改めて感謝しているところです。しかし、限られた人員で年間を通じて立つとなると難しい面があります。朝のお忙しい時間帯であることは重々わかりますので、お子さんを送って来たついでとか、今日は少し時間に余裕があるからとか、多くの方に、できる範囲でご協力いただくと助かります。時間帯は、ピーク時の7時25分から7時45分位です。ご都合のつく間だけで構いません。三城小学校の子供たちを守るため、皆様の力を貸してください。

また、全校児童の安全確保のため、学校近辺の交通量を減らすことにも継続してご協力をお願いします。校門前でお子さんを車から降ろすことは特にご遠慮ください。

ありがとう、6年生

4月19日(金)1校時、運動場で1年生と6年生が「じゃんけん列車」や「だるまさんがころんだ」をして遊んでいました。1年生はとても嬉しそうでした。感染症拡大防止対策としてしばらく休止になっていましたが、本校では伝統的にこういう関係づくりをしています。このような活動を仕組むことで、6年生は最高学年としての自覚が育ち、下級生の手本となる言動が増えてきます。そして、1年生はいつまでもこのお世話をしてくれたペアのお兄さん、お姉さんのことを忘れないのだそうです。今、6年生がお世話している内容は、実は数年前に自分がしてもらったことなのです。人を思いやる心は、自分がどれだけしてもらったかにかかっているそうです。思いやりの心のバトンが、今後もつながって行くよう取り組んでいきます。



80歳、おめでとう！その2「初代校長先生、東奔西走の日々！」

昭和18年、市や県の許可が下り、本格的に始動することになります。校地に当てられたのは、大村市杭出津郷川崎の畑地だったそうです。初代の一瀬前次校長先生は、市役所内に事務所を置きながら着任以来開校に至るまでの準備を、のちに次のように述懐しておられます。

「校舎もない、先生も児童もない学校に赴任しました。当時 僅かな資材が校地予定地にぼつんと置いてありました。私の任務は校舎建築の促進、教具教材の設備、教員組織、大村・西大村の両校に三城の児童として預けられた子供を迎え入れることなど、校長一人の東奔西走の日々でありました。開校までに僅かに二か月、開校予定の4月5日は刻々に迫ります。やっと校舎の内二棟が間に合いました。…」

さて、校舎が二棟しか完成していない中、無事開校予定日を迎えることはできたのでしょうか…。